

2021（令和3）年度 技術アイデア「見える化」支援事業

外部専門家（アドバイザー） インフォメーションシート



| | | |
|-------|-------------------------------------|-----|
| ふりがな | ほんだ | たかし |
| 氏名 | 本田 | 崇 |
| 所属／職名 | 新潟県工業技術総合研究所 下越技術支援センター 主任研究員 | |

■ 主要な専門・研究分野／産学連携（企業支援）の実績など

| | |
|-----------------|---|
| 専門・研究分野 | 塑性加工、シミュレーション |
| 産学連携（企業支援）の実績など | 塑性加工分野を中心に、強度計算、熱解析等へシミュレーションを活用した支援を行ってきました。 文部科学省都市エリア産学官連携促進事業「マグネシウム合金の次世代製品開発(H19～21)」、経済産業省戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）「ステンレス鋼製高強度・高疲労強度極薄ベルトの開発(H22～24)」、「セラミックを用いたステンレス鋼板の温間ドライ絞りしごき加工法の開発(H24～26)」、「真空装置用ステンレス製大型容器の多様な形状に対応する新加工技術の開発(H25～27)」、「航空機用Ni基耐熱合金製リング部品のニアネットシェイプ加工技術の開発(H28～30)」など、多数のプロジェクトに携わっております。 また、これらの支援事業の申請前より、研究内容や申請内容のご相談にも乗らせていただいております。 |

■ 主な研究経歴

| | |
|-----------|---|
| 講演発表 | 第60回塑性加工連合講演会 「熱変形低減への熱心カシミュレーションの適用と実験検証」 優秀論文講演奨励賞受賞 |
| 講演発表 | 第64回塑性加工連合講演会「高疲労強度ステンレス製薄肉ベルトの開発」 優秀論文講演奨励賞受賞 |
| 講演発表 | 第69回塑性加工連合講演会「多様な素材・形状の大型容器を実現する熱間複合精密逐次成形技術」 |
| 解説記事投稿 | 多様な素材・形状の大型容器を実現する熱間複合精密逐次成形技術（2018年） |
| ものづくり日本大賞 | 第7回ものづくり日本大賞 「多様な素材・形状の大型容器を実現する熱間複合精密加工技術」 経済産業大臣賞 |

■ 主な職務経歴

| | |
|-----------|--|
| 研究開発 | 県内企業との共同研究、サポイン事業などの大型プロジェクト（15件以上）の研究開発に従事。 |
| 研究開発・企業支援 | 2016年～ 技術相談、依頼試験と併せて共同研究やサポイン事業などの大型プロジェクトに従事。 大型プロジェクトとは別に毎年10件以上の小規模な受託解析を行う。 |

■ 研究・技術開発に取り組む中小企業様へのメッセージ

DX（デジタルトランスフォーメーション）など、ものづくりのデジタル化が進む中、シミュレーションの活用は重要となっており現状の分析、新規開発、効率化など、様々な状況に活用されています。
どのように活用できるか、自社への導入や実際に適用できるかどうかなど、具体的の方針が決まっていなくてもお話をさせていただくことができます。
また、シミュレーション以外のご相談に関しても、工業技術総合研究所には様々な分野に精通した研究員がおりますので私が窓口となり他の研究員をご紹介することも可能です。